



Southeast Asia Regional Network

# News Letter

宇都宮大学国際学部・国際学研究科同窓会東南アジア支部ニュースレター

宇都宮大学国際学部・国際学研究科同窓会東南アジア支部は、同窓会本部承認のもと2017年8月に創設されました。支部活動の一環として、東南アジア居住者のネットワークを広げる目的を掲げ、2017年9月よりニュースレターを発行しています。このニュースレターが一人でも多くの同窓生に届き、ネットワークが広がっていくことを切に願っています。

VOL. 11  
APRIL  
2021



CONTENTS \*

1. ご挨拶 2. お知らせ 3. 活動報告
4. 新年度特集～支部メンバー新年度アンケート企画～
5. 連載コーナー
  - トコロ変われば★談会-第4回-
  - タイの昨今 -第11回-
  - 狙え！インスタ映え!?-第7回-
  - ともに感じる東南アジア-第7回-

## 1 Greeting

コロナ禍一周年を迎え、まだ先が見えない日々が続きますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。この一年間を振り返ると、今までにない新たな生活様式や働き方、コミュニケーションツールが生まれる中で人々の価値観も大きく変化してきているように感じます。今号ではそんな激動のコロナ禍の一年を支部メンバーが振り返り、新年度に向けての抱負を語る「新年度特集」を設けました。さて、新年度はどんな変化が待ち受けているのでしょうか。今後もニューノーマル生活様式は継続され、さらなるリスクに備えるために時代は大きく変化する予感…。そんな変化に負けず様々な変化を「新たな生き方を発見するチャンス」と捉え、新年度も支部メンバー一同気持ち新たに頑張っていきます！引き続きご声援の程よろしくお願いたします。(大畑)

## 3 Activity

### 駒形さん歓迎会及び 宇タイ会新年度会開催



(写真) 後列左から大宮さん、大宮さん奥様、駒形さん、大畑さん、大部さん(工)、前列左から池内さんお嬢さん、大宮さん息子さん、大畑さん息子さん、池内さん(農)

3月20日(土)にタイ・バンコクにてタイ在住同窓生参加のもと、駒形さん歓迎会及びタイ在住者同窓会(宇タイ会)新年度会を開催しました。コロナ予防規制緩和と駒形さんの来タイのタイミングが合い1年半ぶりに懇談会を開くことができ、久々の顔合わせの中楽しいひと時を過ごすことができました。駒形さんにおかれましては、コロナ禍であってもタイでの生活が爽やかなものとなりますよう、同窓生一同心から応援しています。

## 2 Notification

この3月に国際学部を卒業し、東南アジア漁業開発センター(SEAFDEC: Southeast Asian Fisheries Development Center/本部所在地:タイ)にインターン生として赴任された駒形さんが支部メンバーに仲間入りしてくれました!

W E L C O M E

駒形 麻朋実 さん  
2017年度入学  
国際学科\* /田巻研究室  
宮城県出身/タイ在住

タイに来てもうすぐで2ヶ月になります。来年の2月の帰国までに、タイを思い切り楽しんで、辛いものが少しでも食べれるようになって帰りたいです！皆様どうぞ宜しくお願い致します。

### 宇都宮大学国際学部 学位記授与式ウェブ参加



新たなステージに立つ卒業生皆さんの前途に幸多きことを支部メンバー一同心より応援すると共に、今後は同じ同窓生として交流できる日を楽しみにしています!

3月24日(水)宇都宮大学にて卒業式が行われ、同窓会吉業会長、大学院知求会土屋会長、そして東南アジア支部のウェブ参列のもと、国際学部の学位記授与式が行われました。2017年より2学科(社会・文化)が統合され「国際学科」がスタート。この国際学科第一期生が今回ご卒業を迎えました。そのような中で、今回初めて東南アジア支部からも祝辞を述べる機会を頂き改めて東南アジア支部の存在を知ってもらおう良い機会になったと思います。

## 4 Special Topic

## コロナ禍の1年を支部メンバーが振り返る

東南アジア支部メンバー新年度アンケート企画



ゴッホの美術展に行ったら、入場制限のために少人数制となり、じっくりゴッホのひまわりを独り占めできたこと。(平田)

マスク大嫌いのヨーロッパ人がマスクの用途に理解を示してくれたこと。まだポイントを十分に理解している様子はありますが、公共の場では義務なので皆さんとあらずやっております。(當真)

世界最悪とも言われるジャカルタの渋滞、、、コロナ禍で多少なりとも緩和されました。空気が良くなって、普段絶対に見えない山々を望むことができました。感動しました。ただ今となっては行動規制がユルユルになってしまい、交通量も戻ってきてしまっていますが、、、。(谷澤)

風邪を引きにくくなったこと。

マスクを日常的に着用し、石けんでの手洗いやアルコールによる手指消毒を頻りに行ったので、風邪を引きにくくなりました。2年連続で感染していたインフルエンザにもかからず、いかに今までがだらしない生活だったのかを認識しました。(佐々木)

健康診断の数字が良くなったこと。会食や出張の機会が激減した為。(藤井)

人との交流が制限されたこと。

人との交流が制限されたこと。相手が本件に関してどれぐらい気を遣っているか不確かなのでぼったりどこかで会って話す以外(それでも気を遣います)気軽に話ができる機会が失われているのはとても残念です。過去のことだと思って聞いていた社会主義時代の出来事を重ねてしまいます。(當真)

とにかく飲み会の自粛はつらいですね。ジャカルタの中華街などで昔のように飲み歩き、屋台の酔っぱらいたちとしようもない世間話で語りたいです。(谷澤)

気軽に海外旅行や国内旅行ができなくなったこと。

非常事態宣言のため外食ができなくなってしまったこと。(平田)

日本に帰ることができなかったこと。(大宮)

オンライン業務(慣れない!)  
フード宅配サービスの利用  
非接触型電子決済サービスの利用(日本だとPayPayとか)  
(田邊)

オンライン飲み会  
無用の長物だと思っていたパソコンのWebカメラを使って、SkypeやLINE、Zoomを用いた友人との語らいは、楽しくもあり、難しくもあり。。。  
(佐々木)

エアロバイク

外出自粛や在宅勤務による運動不足解消の為。効果は。。。  
(藤井)

あまり影響を受けないように心がけていますので、新たに始めたことはありません。強いて言えば、家に居る時間が増え、ランニング頻度が増えました。(谷澤)

●外出が減って歳出削減を図れましたが、一方で運動不足による贅肉歳入は増加の一途です。糖質、カロリー、プリン体、脂質などの削減も頑張っていきたいです。(佐々木)

●危機を好機に。家庭では普段持てないゆっくりした家族との時間を増やしたいですね。業務では、普段できない仕事にあえてチャレンジしていきたいです。(谷澤)

●タイ語のブログを始めてみたいです。また、外出自粛を続け、健康を維持することで、医療従事者の方々に負担をかけないようにしたいです。(小沼)

●WEB会議システムに慣れ、仕事で効果的に利用することができるようになることかなあ。中国のキャッシュレス生活(電子決済、なんでも宅配サービス)にはかなり慣れてきました。結構使いこなせてます!! (田邊)

主人が子供と遊んだり話す時間が増えたこと。

私は在宅勤務7年。家にいるのが当たり前。子供と接する時間が長いから、子供がママっ子になるのも当たり前でしたが、コロナで主人が去年3月から在宅勤務になり、パパが家にいるのが当たり前になりました。食事を家族みんなで食べて、話して、遊ぶことができる。バイリンガル育児に最適な環境にもなりよかったです。(小沼)

20年3月末にラオスから緊急避難、そのままラオスの任期を終え9月に中国北京赴任。赴任までの半年間、日本の実家でゆっくり過ごすことができたこと。(田邊)

在宅勤務が増え、幼い子供と共有する時間が多かったこと。子守は大変ですが、得られない時間だったのではないかと思います。(大宮)

体調がよくなったこと。通常、副鼻炎や扁桃炎などで病院にかかることが多い私が、この1年はマスク手洗いを徹底していたせいか、この1年体調不良で病院にかかることがなかった。(大畑)

週末の外出が減り、気分転換が図れなくなったこと。

やれ酒を呑むだの、やれラグビー観戦だのと外出することが多かったです。宅呑みが増え、外で呑むことが憚られるようになってしまいました。また、知人の墓参りを兼ねて行こうとしていたジャカルタに限らず、国内旅行すら自粛でした。GoToトラベルなどど吹く風。公務員はしがたないものです。(佐々木)

当分、日本に気軽に里帰りできそうにないこと  
(2022北京五輪が終わるまでは無理かな?)。(田邊)

息子の修学旅行が中止になったこと。  
修学旅行が直前で中止になりました。楽しみにしていた事が色々制限され、行動範囲が狭くなっている子供たち。今年は修学旅行に行けるよう、事態が改善することを節に願います。(小沼)

海外出張/海外旅行

海外出張はコロナが落ち着いた後もオンラインで済ませる機会が増えそうです…。(藤井)

日本への里帰りができなかったこと。(大畑)

家にいる時間が増えたくらいであまり変わりませんでした。フローリングの掃除が増えたのと、身近になったエタノールの掃除への利用が増えました。(大宮)

ブログを始めたこと。主人がブログを始めました。私もタイ語でブログを作ってみようとコンテンツを書き始めた矢先、仕事量が急に増え頓挫。(小沼)

家で料理をするようになったこと。恥ずかしながら毎食外食に頼るのがほとんどだった毎日でしたが、朝食のほか、昼食のお弁当も作るようになりました。(大畑)

●自己啓発  
●マラソンの走距離が増えた(平田)

●家の大掃除、断捨離。そして大学時代の思い出、国際情勢、政治経済のお勉強。とても楽しいです。(當真)

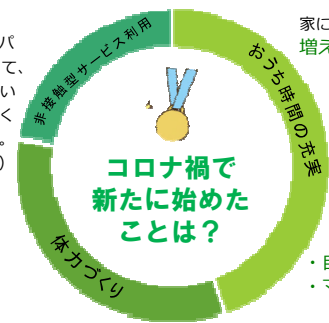
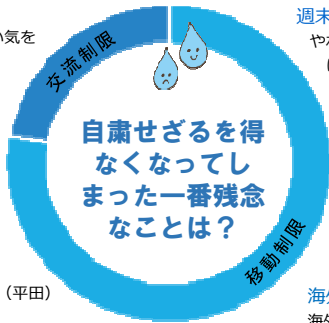
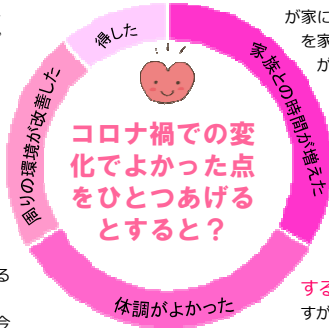
●これまでの当たり前にとらわれず、何事にも前向きにチャレンジしたいです!(藤井)

●今年も自己啓発していきたいし、コロナで我慢の部分があるが、今の状況で仕事ができていることに感謝していきたい。(平田)

●断捨離や荷物の整理をしてすっきりした環境の中でおうち時間、家族との時間を充実させる1年にしたいです。(大畑)

●通常状態に戻ってきた時に訪れるだろう、リバウンド物欲をいかに制御していくか!(大宮)

●チェコは制限ある中でもストレスを溜めない程度に皆さんある程度緩い感じがギスギスしておらず生活しやすいです。他の西の国のように制限に関してデモはありますが暴動はありません。時期活発な元の生活に戻るといいますのでそれまでこのある程度ゆったりした時間に甘えて自分のために時間が使えたらいいな、と思います。(當真)



移動制限の中で多くの「気づき」があった1年間でした。コロナ禍でまだまだ変化し続けるであろうこの新年度にはどんな「気づき」が待っているのでしょうか。新たな気持ちでこの1年もLet's GOooooo!

# 5 Serial Column

住まいの地域事情を  
自分の経験をもとに語り合うコーナー

トコロ変われば  
ザ★談会

## 第四回のお題は、こちら！ あなたの地域のデリバリー(フード宅配)事情

### Thailand

大畑  
サムットプラカーン在住

デリバリーの浸透度は？

チェーン店デリバリーサービスは数十年前からありましたが、フード宅配専門業者(大手3社ほど)が始まったのはここ3、4年くらいでしょうか。各社の競争激化のためか宅配料も低額や無料設定されていることもあり、コロナ後は倍以上の宅配バイクが街中を埋め尽くすようになりました。今ではデパート内レストランの入り口はもとより、道端の屋台でさえも注文品を待つ宅配スタッフを多く見かけます。副業の配達員も多いので、バイクの運転が荒いのが難点です。。。

注文方法は？

アプリをインストールして、ちょっとした個人情報登録すれば完了。あとは掲載されているお店とメニューを選んで注文すれば、宅配担当者の連絡先と到着予定時間、それからGPSでバイクの位置を確認することができます。宅配員が自宅に着いたら、現金払いで完了です。

変わり種宅配は？

セブンイレブンでは100パーツ(約350円)以上注文すれば品物を自宅に配達してくれます。また、私の住む住宅地には住人限定の売り買い(主に飲食物)ライングループがあり、その中で出品者に対してラインで注文＆宅配してくれるのでとても便利です。

### China

田邊  
北京在住



中国でキャッシュレスが当たり前になっていることはよく知られていると思いますが、まさにキャッシュレス先進国。無人のコンビニも多くあり生活のほとんどをスマホ決済でおこないます。手に入れにくい商品もアリババ(淘宝)などのネットショップで簡単に購入、宅配されます。当然、食品のデリバリーも当たり前。宅配のバイクがひっきりなしに走っていますよ。彼らの運転が荒いのは他の国と同様ですね…

入国したらまずケータイ番号を持たなければ何も始まりません。ほとんどすべての認証事項はケータイ番号と結び付けられます。次に必要なことが銀行口座開設。銀行とケータイが繋がれば、あとは様々なアプリでいろいろなものを注文できます。食事だけでなく、街中の自転車を乗り捨てて利用できたり、観光地の入場券も買えたり、バスに乗れたり、なんでもスマホですね。

宅配ではないですが、デリバリーのアプリでできる「変わり種」と言えば、上に挙げた乗り捨て自転車。街に転がっている専用自転車をアプリで解錠、利用した後は施錠すれば課金されます。夜外食してうちへ帰るときなど、通りに自転車が高まっていると、つい拝借したくなります。何だか自転車泥棒の気持ちになるような…^^;

### Czech

當眞  
プラハ在住



時代の流れによりこのようなサービスが出始めたのが2012年以降。加盟レストラン、サービスが格段に向上され多くの人に利用され始めてきたのはここ数年で、さらにコロナの飲食店営業規制+stay home が推進されたことから利用者が大幅に増えた印象です。また、利用者はAPPが使える若い人や外国人が多いような。でもどちらかというと、出来合の食事デリバリーよりもネットスーパーの方がかなり浸透しているように感じます。ただ難点は配達料が高めなことでしょうか(平均約250円程度)。アパートの目の前のショッピングセンターをマクドナルドやKFCのデリバリーが多く行き来するのを見るにつけ、ほんと時代の流れを感じてなりません。私が来た時(15年前)はマクドナルドも少なく、高級品だったのでよー(笑)ピザやさんはさすがに以前から自前の配達バイク/車で営業しているところは多いです。

タイと同様ですが、支払いはネット上で完了です。

コンタクトレス配達もオーダー時に選べ、配達時配達員と顔を合わすことなく受け取れるシステムもあります。まずはと試してみましたが、連絡が上手くいってなかったのか、チップ目的か、何故か普通のデリバリー設定になっており結局普通に顔を合わせ受け取りました。コロナで自宅にいる時間が増えていることから、家族間の虐待が増えている可能性もあり、配達員が届け先のお客さんに異変を感じた時には通報するという社会的役割を果たしているということも聞いたことがあります。



各国度合いは違えど、スマホアプリの発達とコロナ禍の後押しもあり、デリバリーが着実に日常生活に浸透してきましたね。次は各国それぞれにどんな新サービスが登場するのか、世界中の動きに目が離せないですね。



## タイの昨今

### 第11回

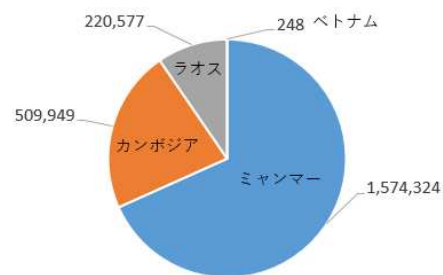


### - 外国人労働者とコロナ -

タイは去年の11月末までコロナ市中感染者ゼロを保っていましたが、遡るところ2020年も残すところ10日となった12月20日、感染者576人！という衝撃のニュースが舞い込んできました。感染源はバンコク隣県のサムットサーコーン県。エビの養殖場で働く外国人労働者コミュニティでクラスターが発生し、関係市場で働くタイ人にも感染が広がりました。次の日から中間テスト、25日にはクリスマスフェアが控えていた息子の学校も、即閉鎖され1週間早く正月休暇に入ってしまった。クラスターが発生した日から、テレビでも連日PCR検査を待つ外国人労働者の長蛇の列が映し出され、毎日のように3~700人規模の外国人労働者の感染者数が発表されるようになる中、私の中でこんな疑問が…。 「どんだけいるの？外国人労働者。。。」ということで、早速外国人労働管理局が公表している統計から現状を調べてみることに！2020年12月のデータ(※1)によると、タイ国内の合法外国人労働者の総数は2,512,328人。その内の約9割が「非熟練外国人労働者」として分類され、現在、ミャンマー人、カンボジア人、ラオス人、ベトナム人がその対象となっています(内訳はグラフ参照※2)。そしてその約半数の

131万人がバンコクとその近隣5県に居住し、さらにその内の24万人が今回のクラスター発生源であるサムットサーコーン県居住しているというのですから、一日3~700人規模の感染者が出てもおかしくないですね。そんなサムットサーコーン県が目目される中、サムットサーコーン県の工場で働く外国人労働者がピックアップトラックに乗せられ、隣県の見知らぬ土地に置き去りにされるという事件が起きました。犯人は、雇用主。雇用主は政府当局に労働者の不法雇用発覚を恐れこのような犯行に及んだようです。コロナゼロを保っていた12月初めにはタイ北部のチェンライ県でPCR検査をすり抜けてミャンマーからタイに侵入した数名のタイ人コロナ感染者が市中感染を引き起こし、国境警備当局が非難を受けたばかり。そして今回のクラスターを受けて外国人労働者の管理がさらに強化される中で、政府は不法雇用主及びミャンマー人、カンボジア人、ラオス人の不法労働者にオンライン登録を求め、登録された者に対しては合法外国人労働者として認める特別措置を施しました。合法外国人労働者として

2020年12月非熟練外国人労働者国籍別内訳(人)



登録されるということは、2年間の医療保険への加入も義務付けられます。タイのコロナ治療費は軽症でも一人当たり約20万パーツ(約70万円)とか。タイ国民は無料ですが外国人は実費払い。外国人労働者を多く抱えるタイでは、50万人とも言われる医療保険を持たない不法外国人労働者がおり、その数を減らすことがまずは急務のようです。(大畑/タイ在住)

(※1)外国人労働管理局  
[https://www.doe.go.th/prd/assets/upload/files/alien\\_th-a0bf3232bdb42f5fe6d8b66cfa75b02e.pdf](https://www.doe.go.th/prd/assets/upload/files/alien_th-a0bf3232bdb42f5fe6d8b66cfa75b02e.pdf)  
(※2)上記(※1)のデータをもとに作成



# 狙え Insta映え!?

アジア取材雑記  
第7回

皆様こんにちは。TVディレクターの谷澤です。いつ終わるとも知れないコロナ禍に藻掻きつつ、まだまだ東南アジアで粘っております。日本から取材クルーが出国できず、海外拠点の制作者には、ある意味で好機だとも言えますが、、、結局、日本とインドネシアの間しか行き来できず、タイにもシンガポールにもマレーシアにも行けず、、、このままでは食い詰めかねません(苦笑)。一刻も早い事態の正常化を願います！

## “観光依存”の大きなツケ…バリ島は変わるか？

さて、今回はずばり、コロナ禍の影響をモロに受ける世界的リゾート地・バリ島取材での一コマです。この1年、外国人観光客の訪問が禁じられ、一説では経済の5割が観光業に依存していたバリ島は、壊滅的な打撃を受けました。以前は大勢の観光客で賑わったビーチも閑古鳥が鳴く状況で、浜にはプラスチックゴミや流木などが大量に散乱しております(写真)。当局の清掃頻度もかなり落ちているようです。繁華街では潰れた飲食店やホテルが目立ち、観光業関連ではおよそ30万人と大量の失業者が発生していると言います。

一方、このコロナ禍による打撃を“好機”に変えようという動きもあります。これまで軽視されてきた農業の振興や、若者たちの起業を促進する動きが加速。これまで過度に依存してきた観光業からの脱却を進めようという動きが少しずつ始まっています。バリ島でもコロナがかつての常識を覆し、良い意味での“ニューノーマル”を根付かせることになるのか、注目です。### (谷澤壮一郎/インドネシア在住)



谷澤さんが手掛けたバリ島ドキュメンタリーの番組サイトもご覧ください！  
<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/tv/asiainsight/20210115/2022320/>



大宮 勇樹  
タイ・バンコクにて

ビタミン飲料で稼ぐうコンビニ  
免疫カアアップがコロナ禍トレンド

第七回  
ともに感じる東南アジア

### 東南アジアへの想いを共に発信していく仲間（国際学部・院同窓生）を募集しています！

東南アジア域内在住同窓生・元留学生・東南アジア域外在住で東南アジアに関わりたい、関わっていききたい同窓生（通称ファンクラブ）の皆様など、興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ事務局兼ニュースレター編集係 大畑 (miyukiohata@gmail.com)までご連絡ください。

数多くの同窓生からの声をお待ちしています！

現メンバー (15名) ▶大畑美優紀 95・マリー/藤田研究室▶田邊知成 96・小池研究室▶ROMANOV(當眞) 里絵 96・佐々木(史)研究室▶栗林(泊) 祥子 96・梅木研究室▶平田 勝博 97・友松研究室▶本間 みずほ 97・田巻研究室▶原理恵 98・藤田研究室▶谷澤 壮一郎 02・石浜研究室▶大宮 勇樹 06・マリー研究室▶知念(高田) 知佳00・田巻研究室▶諸頭(岩山) 晴奈05・阪本研究室▶小沼 洋子 97・藤田研究室▶藤井満春 00・友松研究室▶佐々木哲夫 99・藤田/中村(祐)研究室▶駒形麻朋実17・田巻研究室 (※数字は入学年度)